

令和4年度 第72回 関東高等学校卓球大会



期日 令和4年6月3日（金）～5日（日）

会場 バルドラール浦安アリーナ

文責 千葉県高体連卓球専門部 委員長

千葉県立千葉東高等学校 真田 信弘

令和4年度第72回関東高等学校卓球大会を千葉県浦安市のバルドラール浦安アリーナで開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、無観客での開催となりましたが、学校対抗・シングルスは関東大会では、はじめて全試合ライブ配信する中、白熱した試合が展開されました。

開会式では、連続出場校として、東京都文化学園大学杉並高等学校女子（40回）・群馬県明照学園樹徳高等学校男子（30回）・群馬県沼田高等学校男子（10回）・神奈川県桐蔭学園高等学校男子（10回）、連続出場監督として、西村勇登監督（千葉県木更津総合高等学校・20回）、通算出場校として、東京都文化学園大学杉並高等学校女子（40回）・山梨県甲府市立甲府商業高等学校女子（40回）・東京都東海大学菅生高等学校男子（20回）・山梨県甲府西高等学校女子（10回）・埼玉県正智深谷高等学校男子（10回）・茨城県下館第二高等学校女子（10回）の表彰が紹介されました。

男子学校対抗では、三浦学苑（神奈川）と埼玉栄（埼玉）の決勝戦となり、埼玉栄が昨年度の雪辱を果たし、優勝を手に入れました。第3位には、実践学園（東京）と沼田（群馬）が入賞しました。

女子学校対抗においては、横浜隼人（神奈川）と正智深谷（埼玉）の決勝戦となり、横浜隼人が勝利を収めました。第3位には、宇都宮文星（栃木）と武蔵野（東京）が入賞しました。

男女ダブルスは、各都県代表数を男女各2組ずつに戻して行いました。男子ダブルスでは、高橋航太郎・柳澤幹太組（実践学園・東京）が杉山勝大・福田奏多郎組（埼玉栄・埼玉）との決勝戦を制しました。第3位には昨年度優勝組の山本煌翔・東海林聖央組（三浦学苑・神奈川）と八幡陽介・中橋考太（湘南工大附・神奈川）が入賞しました。

女子ダブルスでは、武山華子・岡野結衣組（横浜隼人・神奈川）と岩木仁香・桧山夏望組（横浜隼人・神奈川）の同校による決勝戦となり、武山・岡野組が先輩の意地を見せフルゲームをものにして優勝した。第3位には狩野琴春・松本愛加組（埼玉栄・埼玉）と矢島采愛・坂崎愛華（正智深谷・埼玉）が入賞しました。

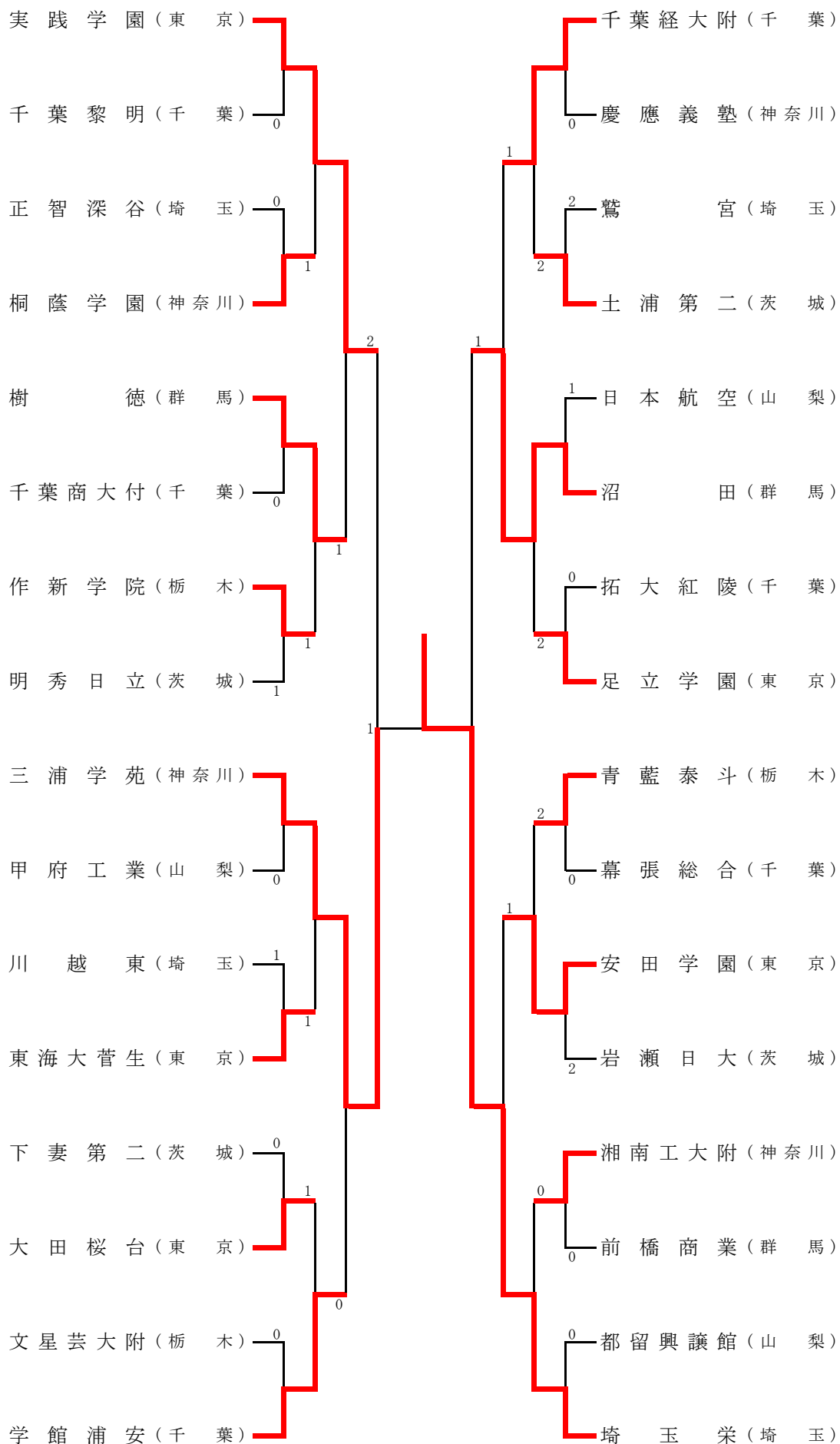
男子シングルス決勝は地元の付湛斌（学館浦安・千葉）と杉山勝大（埼玉栄・埼玉）の対戦となり、付が地の利を活かし優勝を手に入れました。第3位には、高橋航太郎（実践学園・東京）と東海林聖央（三浦学苑・神奈川）が入賞しました。

女子シングルス決勝は岩木仁香（横浜隼人・神奈川）と武山華子（横浜隼人・神奈川）の同校対決となり、岩木がダブルスでの悔しさを晴らし優勝し、横浜隼人が全種目優勝を制覇し強さを見せつけました。第3位には、宮内理伸（横浜隼人・神奈川）と東川羽菜（宇都宮文星・栃木）が入賞しました。

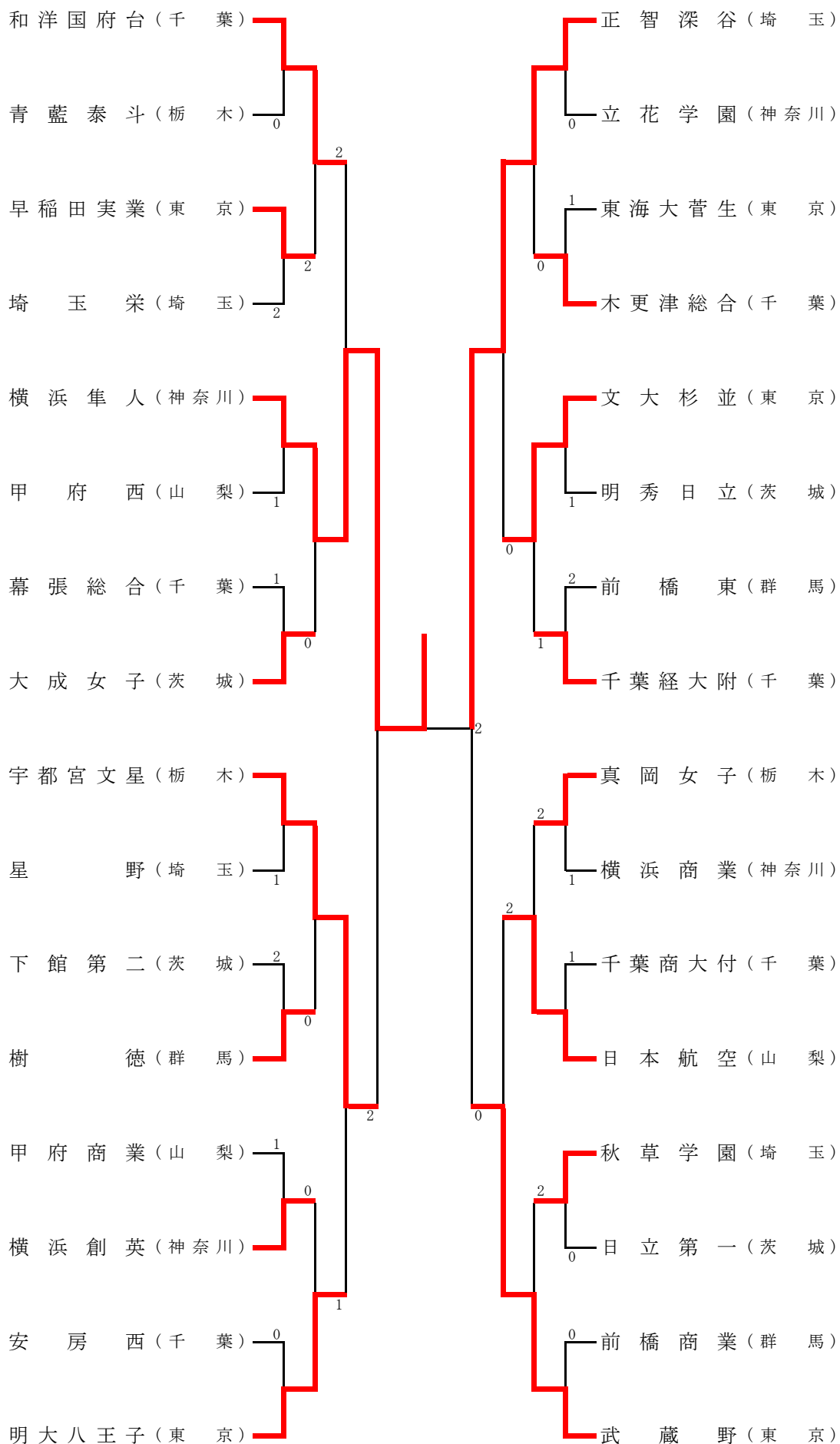
大会運営に関して、まだまだ出口の見えないコロナ禍での開催でありましたが、株式会社 LaboLive 様の御協力を賜り白熱した試合をライブ配信し、多くの方に応援していただける大会でもありました。

最後になりますが、本大会の開催にあたりご指導、ご協力いただいた関係各位及び、競技役員の皆様ありがとうございました。また、素晴らしいプレーを見せてくれた選手の皆様にも御礼を申し上げ、報告とさせていただきます。

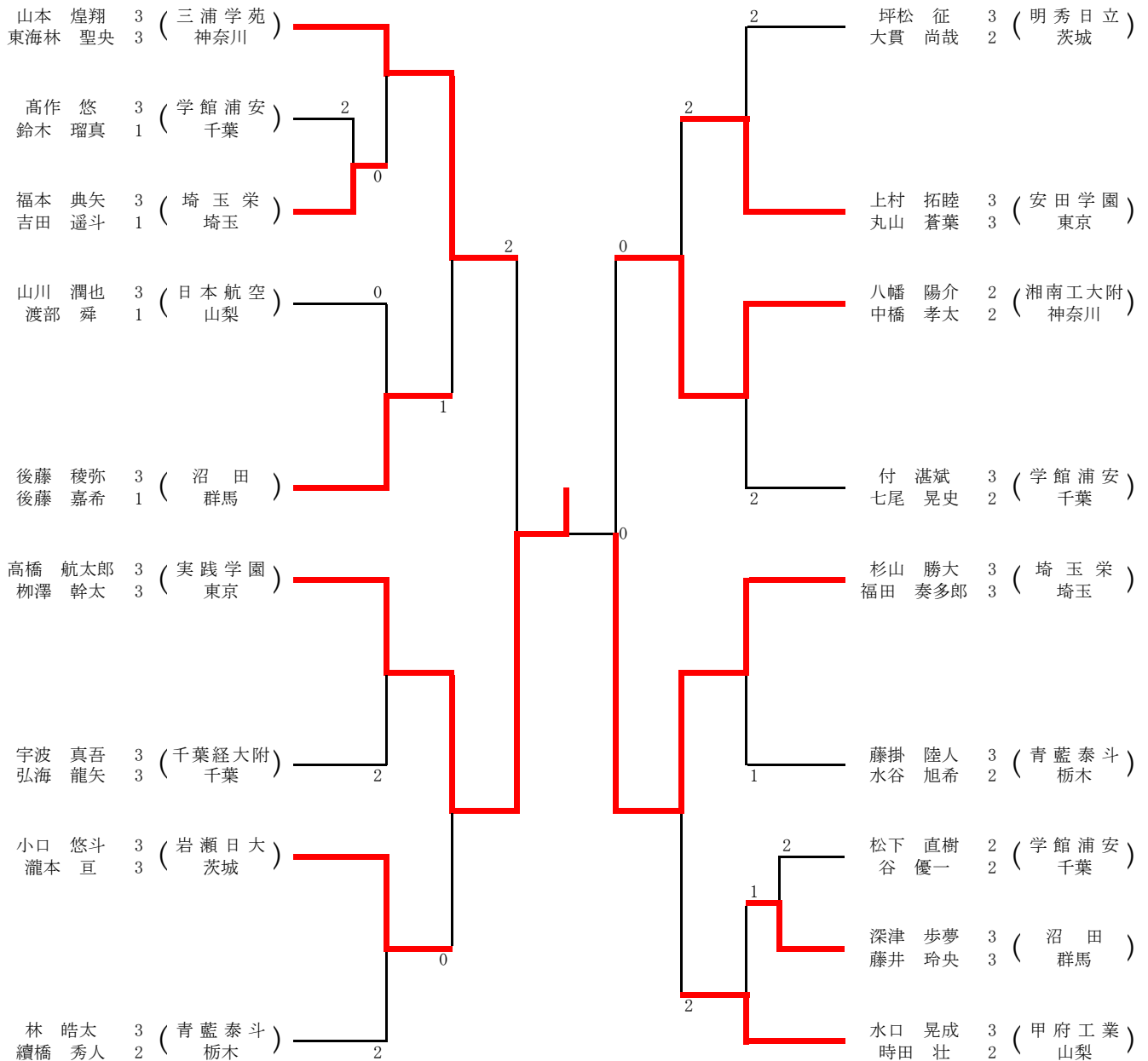
男子学校对抗 (BT)



女子学校对抗 (GT)



男子ダブルス (BD)

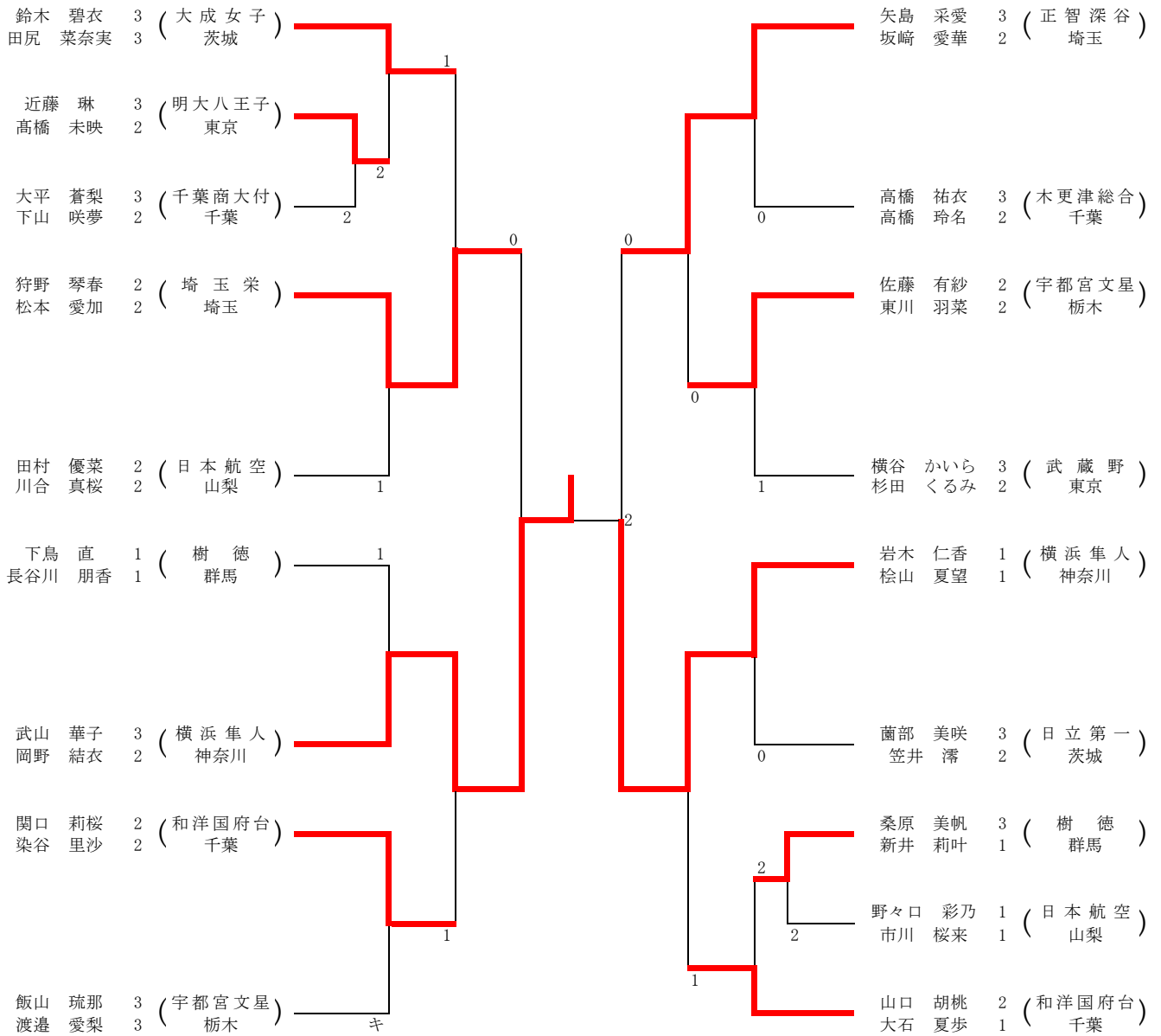


準決勝			
山本 煌翔		11 - 13	
東海林 聖央	2	11 - 7	3
神奈川		8 - 11	
三浦学苑		11 - 13	
高橋 航太郎		13 - 11	
柳澤 幹太			
東京			
実践学園			

準決勝			
八幡 陽介		7 - 11	
中橋 孝太	0	5 - 11	3
神奈川		7 - 11	
湘南工大附			
杉山 勝大			
福田 奏多郎			
埼玉			
埼玉栄			

決勝			
高橋 航太郎		11 - 7	
柳澤 幹太	3	11 - 6	0
東京		11 - 8	
実践学園			
杉山 勝大			
福田 奏多郎			
埼玉			
埼玉栄			

女子ダブルス (GD)

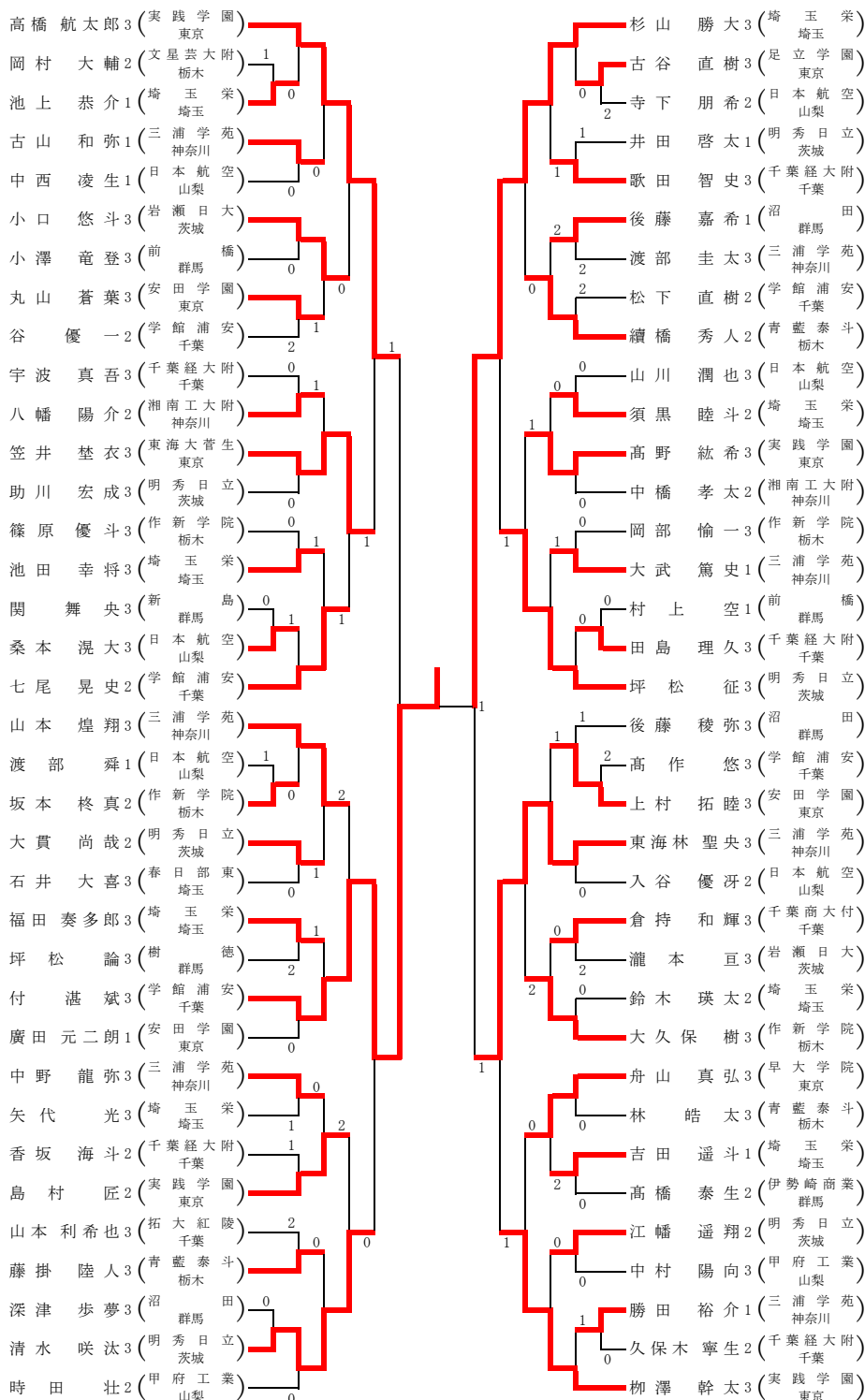


準決勝			
狩野 琴春		7 - 11	武山 華子
松本 愛加	0	12 - 14	岡野 結衣
埼玉		7 - 11	神奈川
埼玉栄			横浜隼人

準決勝			
矢島 采愛		8 - 11	岩木 仁香
坂崎 愛華	0	5 - 11	桧山 夏望
埼玉		1 - 11	神奈川
正智深谷			横浜隼人

決勝			
武山 華子		11 - 8	岩木 仁香
岡野 結衣	3	10 - 12	桧山 夏望
神奈川		11 - 3	神奈川
横浜隼人		3 - 11	横浜隼人
		11 - 8	

男子シングルス (B S)

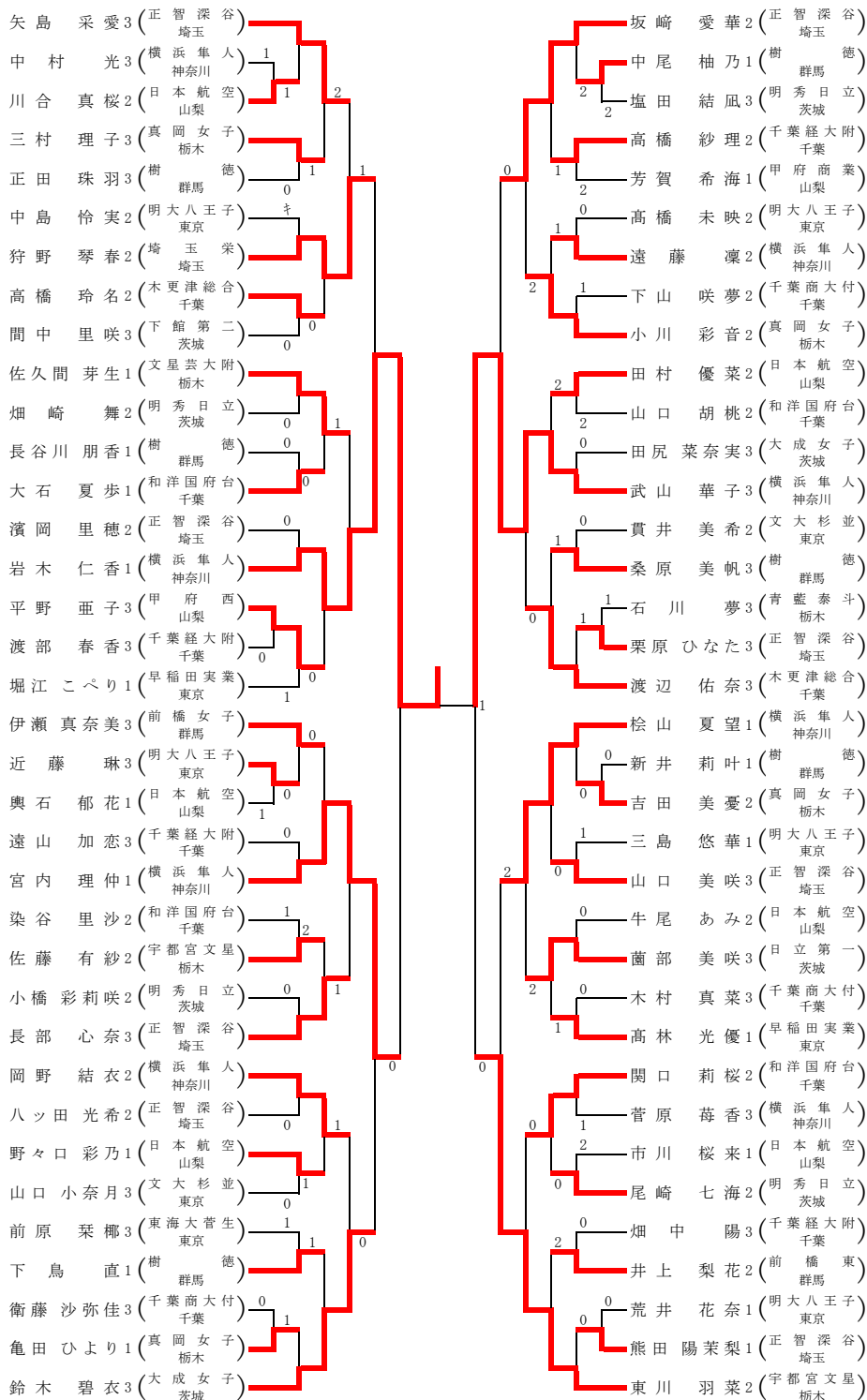


準決勝			
高橋 航太郎 東京 実践学園	9 - 11	付 湛斌 千葉 学館浦安	13 - 15
	11 - 7		3
	9 - 11		

準決勝			
杉山 勝大 埼玉 埼玉栄	10 - 12	東海林 聖央 神奈川 三浦学苑	12 - 10
	11 - 5		1
	11 - 8		

決勝			
付 湛斌 千葉 学館浦安	11 - 6	杉山 勝大 埼玉 埼玉栄	7 - 11
	11 - 6		1
	11 - 6		

女子シングルス (GS)



準決勝			
岩木 仁香 神奈川 横浜隼人	11 - 5	0	宮内 理仲 神奈川 横浜隼人
	3 11 - 4		
	11 - 5		

準決勝			
武山 華子 神奈川 横浜隼人	11 - 8	0	東川 羽菜 栃木 宇都宮文星
	3 11 - 7		
	11 - 9		

決勝			
岩木 仁香 神奈川 横浜隼人	12 - 10	1	武山 華子 神奈川 横浜隼人
	7 - 11		
	3 11 - 7		
	11 - 8		



男子学校对抗 優勝 埼玉栄 (埼玉)



女子学校对抗 優勝 横浜隼人 (神奈川)



男子ダブルス 優勝
高橋 航太郎・柳澤 幹太 (実践学園・東京)



女子ダブルス 優勝
武山 華子・岡野 結衣 (横浜隼人・神奈川)



男子シングルス 優勝
付 湛斌 (学館浦安・千葉)



女子シングルス 優勝
岩木 仁香 (横浜隼人・神奈川)